

第 76 期

株主通信

KUZE BUSINESS REPORT

2022年4月1日から
2023年3月31日まで

TOP MESSAGE

100周年のその先を見据え、さらなる変革へ。
持続可能で質的な成長を実現します。

頼れる食のパートナー

KUZE 株式会社 久世

証券コード：2708



久世の強み

フルラインサプライヤー

食品から資材まで全てをお届け
汎用食材から産地や品種に拘った専門
性の高い商品、さらには消耗品や資材
など外食産業に関するあらゆる商材を
取り扱っています。

運ぶ

KZN[久世全国物流ネットワーク]構築

「いま、欲しい」に全国配送網でお応え

久世独自の物流網で、首都圏を中心に、北は北海道から、南は九州まで、365日/24時間体制で注文をお受けし、翌日に配達できる体制を整えています。全国展開のチェーン店から、きめ細やかな配送を必要とする個店向けまで、お客様のニーズに応じて幅広い物流対応が可能です。



プライベートブランド商品の開発

おいしさと便利の4ブランド

定番食材からデザート、さらには資材や消耗品などのノンフードまで、お客様に厨房での手間やコストを省いていただくため、品質と価格にこだわり、幅広くオリジナル商品を開発しています。



品質管理

ISO22000について

食品安全マネジメントの品質への取り組みとして、当社では食品安全マネジメントの国際規格であるISO22000認証を2013年に取得しています。

国際規格



つくる

グループシナジー

付加価値を生み出す総合力

久世グループとして、ソース・スープなどの製造販売を行うキスコフーズ、生鮮野菜の仕入・販売を行う久世フレッシュ・ワン、水産物仲卸会社の旭水産などを傘下に持ち、久世ならではの高品質をグループの総合力で実現しています。



一貫した 品質管理・衛生管理

安心・安全かつ
高品質な商品提供を

品質管理部門を設け、安心・安全な商品提供をお約束し続けています。さらに、物流時の徹底的な温度管理で、高品質な商品をお届けします。

メニュー提案と開発のご支援

外食産業に関する全てをサポート

商品のご提供に留まらず、メニュー開発やその見せ方、オペレーションに至るまで、長年の経験とノウハウをいかし、お客様の課題解決のためのサポートを行っています。レストラン・居酒屋・カフェ・ホテルなど、業態を問わず、幅広いご相談にお応えしています。

考える

情報発信ツールの提供

久世の持つノウハウを発信

商品カタログのほか、メニューレシピなどのトレンドを提供する情報誌「久世通信」やWEBなど各種媒体で情報を発信しています。



株主の皆様へのメッセージ

Top Message

100周年のその先を見据え、さらなる変革へ。 持続可能で質的な成長を実現します。

代表取締役社長

久世 真也

profile

1972年9月27日生。2002年10月当社入社。
営業本部東京支店副支店長、キスコフーズ代表取締役
社長を歴任し、常務取締役、取締役副社長を経て現職。

22年度の業績総括をお願いします

この1年間は、コロナ禍によるさまざまな制約が緩和され、社会・経済活動の回復が顕著となりました。街には人が戻り、当初想定していた以上に賑わいを取り戻しています。外食市場においても、消費マインドの高まりとともに集客の改善が進んでいきました。インバウンドや法人需要は、本格回復までに至りませんでした。今後はより活性化し、拡大が期待できる状況です。

一方、原料費の高騰や円安を受け、食材価格および人件費、物流費の上昇が続くなどコスト環境が悪化し、マイナス面の影響が広がってきました。

そうした中で当社グループの営業活動は、ウィズコロナ業態と位置付けた中食・惣菜、テイクアウト&デリバリー、セントラルキッチンなどの需要獲得が進み、また冷凍素材や

酒類・飲料を積極提案するプラスオン戦略が成果を上げ、好調に推移しました。改善施策においても、現場の努力により損益分岐点が引き下げられ、コスト上昇分のカバーが可能となり、利益の確保につながりました。

その結果、2023年3月期の連結業績は、売上高564億60百万円(前期比28.8%増)、営業利益8億42百万円(前期は9億8百万円の損失)、経常利益9億円(同7億46百万円の損失)、親会社株主に帰属する当期純利益8億32百万円(同7億27百万円の損失)と期初計画を上回り、増収増益となり、黒字回復しました。

過去3年間、コロナ禍という未曾有の危機を克服すべく、事業の基本に立ち返り、営業の足腰を強化しながら、社員ひとり一人が利益への意識を高めてきたことが、当期の成果をもたらしたと捉えています。

中期経営計画の振り返りと 今後の成長戦略を教えてください

当社グループは、2022年3月期より3ヶ年中期経営計画「One Team 100(ワンチームハンドレット)」を始動し、改善施策の実行とともに既存事業の強化を図り、成長戦略を推進してきました。その中で前述の通り、ウィズコロナ業態の開拓とプラスオン戦略、損益分岐点の引き下げが奏功し、利益を確保できました。また2022年3月に締結した国分グループ本社との資本業務提携を通じて、自己資本比率も回復し、財務基盤の強化を果たしました。

売上高に占めるウィズコロナ業態の割合は、全体的な需要回復の中、現在12～13%で推移しています。プラスオン戦略は、新設したセールスバイヤー部および酒類・飲料販売推進部によるバックアップが効果を発揮し、単品を水平展開する力が格段に向上しました。損益分岐点の引き下げは、特に物流コストの低減と適正価格化による粗利益率の改善が寄与し、売上高が従前の水準から20%減少しても利益の創出が可能となりました。

成長戦略においては、冷凍宅配と食品アソートの強みを活かしたEC物流受託が需要を取り込み、実績を伸ばしており、同時に自社運営ECサイト「make!tSTORE(メイキットストア)」も販売成果を上げながら、ECビジネスのノウハウ獲得に寄与しています。また、DX化の一環としてお客様の利便性向上を目的に双方向コミュニケーションサービス「KUZEX(クゼックス)」を構築しました。このシステムを活用し、営業体制を進化させてまいります。

「One Team 100」は、コロナ禍の時期に計画したものであり、実際の経営環境は大きく変化しましたが、結果として最終年度(2024年3月期)の業績目標のうち「営業利益8.4億円」を1年前倒しで達成しました。そして、創業100周年を見据えた長期ビジョンの第1フェーズとして、2024年3月期を初年度とする新たな中期経営計画を再策定しました。

今回、あらためて中期経営計画を再策定した背景には、アフターコロナへの移行に伴い、外食、中食市場において新しい時代が見えてきた状況があります。私たちは、その時代の変化を的確に捉え、「持続可能で質的な成長」を実現していく考えです。具体的な方向性として、「関東集中」「機能強化」「プラスオン」を基本戦略とし、「フードサービス」「観光レジャー」「中食・惣菜」の各市場を強化する市場と捉え、「人財」「物流」「情報システム」への投資を実行してまいります。

その第1フェーズとなる新3ヶ年中期経営計画(2024年3月期～2026年3月期)は、「成長への再スタート」をテーマに掲げ、これまでの改善施策と成長戦略を引き継ぎつつ、再成長を目指すための事業基盤の再構築を図ります。3年後に向けて、営業利益の水準を着実に高めていく方針ですが、当面はコロナ禍の中で見送ってきた設備投資や労働環境の改善にコストを投じる必要があり、計画初年度の2024年3月期は、増収・減益を予想しています。

株主の方へのメッセージをお願いします

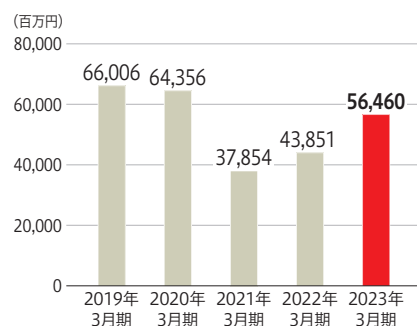
今回の期末配当は、業績の回復により過去2期の無配当から復配し、コロナ禍以前の2019年3月期と同水準となる1株当たり12円とさせていただきます。2024年3月期の期末配当は、今のところ同12円を予定しています。今後は、業績の改善状況に合わせて、配当水準の向上を検討してまいります。

これからは、人と人の対面によるコミュニケーションが復活し、多くの人々が身近な贅沢を味わいながら、非日常の体験がもたらす豊かさを大いに楽しむ時代になっていくと思います。その中で私たちは、外食・中食産業を支える役割を通じて、豊かさの創出の一端を担い、世の中に必要な企業として成長してまいります。

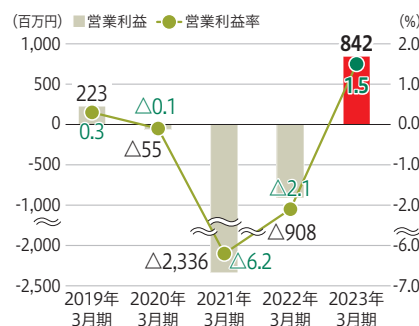
株主の皆様には、今後とも長きにわたり当社グループ事業へご支援を賜りますようお願い申し上げます。

連結財務ハイライト Consolidated Financial Highlights

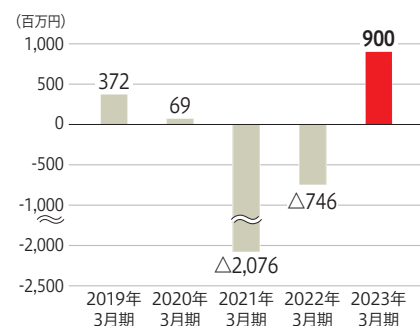
売上高



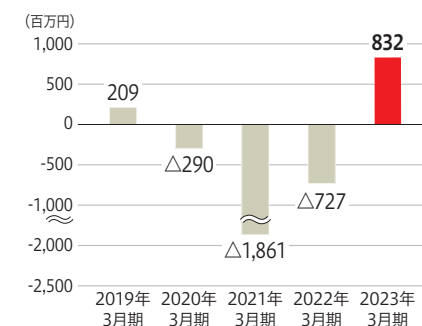
営業利益／営業利益率



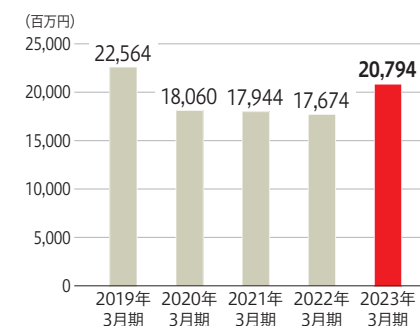
経常利益



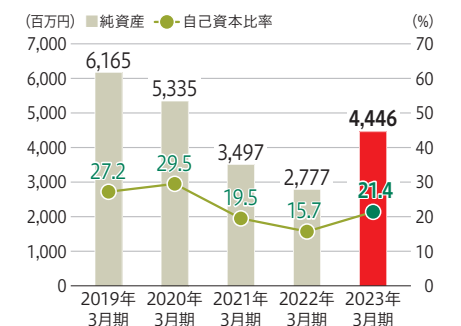
親会社株主に帰属する当期純利益



総資産



純資産／自己資本比率



長期経営テーマ

∞ 「持続可能で質的な成長」

中期経営テーマ

「成長への再スタート」

2035年3月期
100周年

売上高
営業利益

2024/3

2025/3

2026/3

2029/3

2032/3

2035/3

第1フェーズ

中計目標

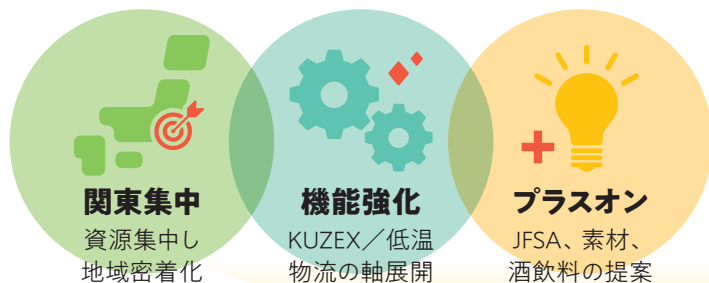
	24/3	25/3	26/3
売上高	625億円	640億円	660億円
営業利益	6億円	9億円	13億円

営業利益
2%以上

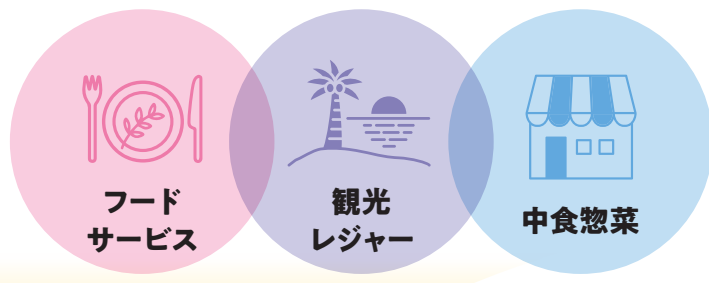
当社は、2035年3月期に100周年を迎えます。
その先の未来を見据え、「持続可能で質的な成長」を
テーマに、まず第1フェーズの24年3月期～26年
3月期は「成長への再スタート」として事業基盤の再
構築を図ってまいります。

第1フェーズの取り組み

3つの基本施策



強化する市場



投資施策

人財 | 物流 | 情報システム

未来を創る5つの施策

EC事業

DX化
推進

商品開発

海外事業

グループ
シナジー

NEXT PHASE

久世のサステナビリティ取り組み事例

一人材に関する社内環境の整備について

人財育成

当社グループは、従業員一人ひとりが常に自責の念を持ちつつ、課題解決のために行動できる参加型経営人財を理想としております。そのため、職場でのOJTを通じた成長に加え、役割・職種等に応じて能力・スキル、専門性の向上を目的とした研修を実施しております。

新人事制度の導入

お客様満足度の向上と業務の改革を推進し、人財育成を行い持続的に成長できる一体感のある企業風土を醸成すべく、あるべき人材像「久世パーソン像」を明確化させるとともに2023年4月より「公平性向上と待遇改善」「適材適所」「人財育成」の3つを目的とした新人事制度をスタートさせました。

会社概要／株式の状況

Corporate Data / Stock Information

会社概要

社名 株式会社 久世
所在地 東京都豊島区東池袋二丁目29番7号
電話番号 03-3987-0018(代表)
代表者 代表取締役社長 久世真也
創業 1934年(昭和9年)4月
会社設立 1950年(昭和25年)1月
資本金 1億円(2023年3月31日現在)

役員(2023年6月28日現在)

代表取締役会長	久世 健吉	監査役	後藤 明彦
代表取締役社長	久世 真也	社外監査役	大鹿 博文
常務取締役	加藤 広忠	社外監査役	和井田 堯彦
常務取締役	吉田 弘之		
取締役	市川 明夫		
社外取締役	平川 功		
社外取締役	鈴木 嘉一		

株式の状況(2023年3月31日現在)

発行可能株式総数 12,000,000株
発行済株式総数 4,626,327株
株主数 4,333名

大株主の状況(2023年3月31日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
国分グループ本社株式会社	924,945	19.99
久世健吉	619,425	13.38
久世真也	291,750	6.30
久世純子	217,800	4.70
株式会社トーホー	135,000	2.91
久世社員持株会	132,925	2.87
久世将寛	130,500	2.82
久世晃介	128,100	2.76
株式会社みずほ銀行	125,000	2.70
株式会社極楽湯ホールディングス	125,000	2.70

(注) 持株比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 事業年度末日の翌日から3カ月以内に開催
期末配当金受領株主確定日 毎年3月31日
株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関(同連絡先) 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
公告方法 電子公告により、当社WEBサイトに公告いたします。但し、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に公告します。

ご注意 1. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、みずほ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(みずほ信託銀行)にお問い合わせください。
2. 未受領の配当金につきましては、みずほ信託銀行及びみずほ銀行の本店及び全国各支店でお支払いいたします。

IR Information

株主還元

配当金

1株当たり配当金 12円に復配いたします

当社は株主様に対する利益還元について、会社の価値を評価する重要要素と認識しております。今後も、事業環境を総合的に勘案しつつ、安定配当を基本におきながら、弾力的に株主様へ還元を図ってまいります。また、一定以上の利益水準を達成した場合には業績連動の考え方を取り入れていく方針です。

株主優待制度

進呈時期

毎年10月中旬以降

当社は、株主様の日頃のご支援に感謝するとともに、より多くの皆様に当社株式を長期に保有していただける魅力あるものとするを目的として株主優待制度を設けております。

○対象となる株主様

毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載された1単元(100株)以上を保有されている株主様を対象といたします。

○優待の内容

株式保有数に応じて当社プライベート商品「特選無洗米」(山形県天童産)をお送りいたします。

**100株以上
1,000株未満**

久世 特選無洗米 2.5Kg

**1,000株以上
3,000株未満**久世 特選無洗米 5Kg
(2.5kg×2)**3,000株以上**久世 特選無洗米 10Kg
(2.5kg×4)

株主様からの声

今回も株主様アンケートを実施いたします。下記URLまたはQRコードからアンケート画面へアクセスいただきご回答いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

<https://forms.gle/74kHCkzY72WHn9Yy5>

前回の株主通信に同封いたしました株主様アンケートの結果について、いただいたご意見の一部をご報告いたします。皆様からいただきました貴重なご意見を、今後にかけてまいります。

Q ESGの取り組みへの考え方について教えてください。

A 循環型社会への取り組みは当社グループとしても大きなテーマと考えております。特に食品を扱う企業として食品ロス削減に努めるべく、商品の在庫管理を徹底するなど賞味期限切れによる廃棄削減に努めております。今後も環境、社会、ガバナンスに関する社会課題の解決に向けて積極的な取り組みを推進してまいります。

Q 優待のお米が好きです。

A ありがとうございます。多くの株主の皆様喜んでいただけるよう毎年新米をお届けしております。今年も5月に新入社員をはじめとした社員が農家の方々と一緒に田植えを実施しました。10月中旬に株主の皆様へお届けする予定でおります。

Q DXの推進とは具体的にどんなことをするのでしょうか。

A 1つの例として、お客様の利便性向上のために構築した双方向コミュニケーション型のサービス「KUZEX(クゼックス)」があります。KUZEXは、スマホでの受発注やコミュニケーション履歴、お客様の情報も蓄積することが可能です。お客様と私たち双方の利便性・生産性を向上させることができます。外食・中食のお客様は、人手不足などの課題を多く抱えていらっしゃるため「頼れる食のパートナー」としてお客様と一緒に課題解決をしていきたいと考えております。



詳細な情報はホームページをご覧ください

<https://www.kuze.co.jp>